

**研究主題** **豊かに生きる力の育成**  
**～自分を知り「なりたい自分」に近づくキャリア教育の実践～**

**1 単元名 「今、私は、ぼくは」**

**2 単元の目標**

文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話の構成や展開について理解して、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考え、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。

**3 本単元の評価規準とキャリア教育を通して育みたい力（評価規準マトリクス）**

| 高学年の基礎的汎用的能力（夢4）  |   | 知識・技能   | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度  |
|---|---|---|---|--|
| 人や社会と関わる力<br><br>【人間関係形成・社会形成能力】 | <ul style="list-style-type: none"> <li>相手の立場に立って考え、思いやりをもって行動する力</li> <li>相手と関わりながらよりよいものを創り上げようとする力</li> </ul> |   | ①「話すこと・聞くこと」において、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。         | ①資料を活用して自分の考えを表現することに意欲的に取り組み、聞き手の知識や反応等に応じてより効果的なスピーチにしようとしている。 |
| 自分をみつめる力<br><br>【自己理解・自己管理能力】  | <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の長所短所を理解し、自分らしさを発揮する力</li> <li>自分と異なる意見も理解しようとし、積極的に交流する力</li> </ul>   |   | ②「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えている。 |  |
| 課題をやりにく力<br><br>【課題対応能力】       | <ul style="list-style-type: none"> <li>課題に対して自分に今何ができるのかを考え、計画、実践する力</li> <li>情報や情報手段を主体的に選択し、活用する力</li> </ul>  | ①文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話の構成や展開について理解している。 |   |  |
| 次につなげる力<br><br>【キャリアプランニング能力】  | <ul style="list-style-type: none"> <li>学ぶこと働くことの意義を理解する力</li> <li>将来の夢について考え、実現に向けて設計、行動、改善する力</li> </ul>       |   |   |  |

※キャリア教育と関連が密接なものは**ゴシック体・太字**

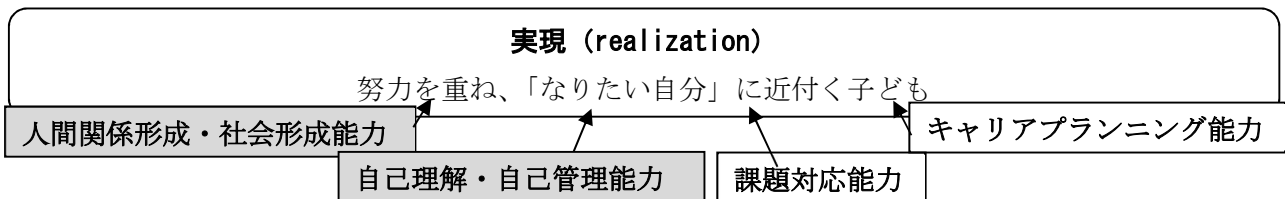
## 4 部会提案

### (1) 児童の実態と単元観




小学校卒業を控え、これからの生活への期待や不安を抱く時期に、今の自分の思いを届け合うことで、互いを大切に思い合い、かけがえのない存在である実感をもたせたい。更に、これまで共に過ごしてきた仲間や、支えてくれた保護者に今の自分の思いや考えを伝えたいという意識の高まりは、これまでの歩みを振り返ったり、少し先の未来について考えたりすることを通して、今の自分について考える意義をより一層深める。これまで「聞いて、考えを深めよう」「いちばん大事なものは」「みんなで楽しく過ごすために」で聞き手としてや、話し手を構成する一員としての学習を積み重ねてきた。本単元は、「話すこと・聞くこと」の学習のまとめである。児童がこれからの自分を思い描き、今の自分の思いを伝えるスピーチを通して、効果的な資料を提示しながら、自分の考えが相手に伝わるように表現を工夫することを学ぶ。自己を見つめ、相手意識をもって伝えることで、小学校生活のあゆみの集大成として、そして中学校生活への架け橋としても機能させたい。

キャリア教育の視点では、この単元で「自己理解・自己管理能力」を中心軸として、「人間関係形成能力」も高めていけると考える。単元全体が、自分を課題と関わらせ、自分を正しく見つめ、自分を客観的に捉え直し、他との交流を通して自己理解を広げるといった流れで構成されている。この流れの中で、これまでの自分そして、これからの自分と対話し、自分らしさを生かしていく道筋が見えていくと考える。





### (2) 高学年の目指す児童像と本単元で重点となる基礎的・汎用的能力




### (3) 本単元で目指す児童像を実現するための手立てと関連する夢4

|  |  |
|--|--|
| <p>【手だて1】：学びを明らかにする（＝自分を見つめる）ために</p> <p>○<b>既習事項や経験の振り返り</b></p> <p>文章構成や話し方・聞き方等の既習事項や経験を振り返り、身に付けてきた力をどのように発揮できるか、これからの生活でどう生かしていけるのかを考えさせる。単元の中でも振り返りの機会をもち、めあてと照らし合わせて現在の自分を見つめさせる。</p> <p>○<b>夢4ファイルの活用</b></p> <p>自分のこれまでの歩みを振り返り、これからの自分を見通し、今の自分が伝えたいことを明確にするために、夢4ファイルの積み重ねを振り返らせ自分を見つめさせる。</p>                             | <p>【夢4】</p>   |
| <p>【手だて2】：見通し（＝「なりたい自分」）をもって主体的に活動に取り組むために</p> <p>○<b>今の自分を見つめ、めあてと照らし合わせて学習計画を立てる。</b></p> <p>これまでの経験や国語の学習と、めあてとを照らし合わせ、学習計画を立てる。ワークシートにも生かし、単元の学習を見通しながら身に付けたことを土台として、なりたい姿に近づくための1単位時間であることの意識を高める。</p> <p>○<b>スピーチに対する経験を積み重ねる。</b></p> <p>様々なテーマで1分間スピーチを重ね、自分を開く楽しさや、それを受け止める喜びを味わせた。話す・聞く際にこうありたいという像を求め、達成度を振り返る機会を設けた。</p> | <p>【夢4】</p> <br> |

5 指導計画 (全6時間)

|          |           | 学習内容  | 主な学習活動   | ◆指導上の留意点  | 【評価規準】<br>基礎的・汎用的能力   |
|----------|-----------|---|--|---|---|
| 学習課題をつかむ | 1<br>(本時) | 自分の思いをスピーチで伝えるという見通しをもち、適切な話題を考える。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○伝えたいという思いや課題意識を高める。</li> <li>○スピーチを視聴し、スピーチメモを見て、ゴールイメージを明確にする。</li> <li>○学習計画を立てる</li> <li>○スピーチの話題を考える。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆<u>どんな力を付けたいか、誰に何を伝えたいかを話し合い、児童の伝えたいという思いや課題意識を高める。</u></li> <li>◆スピーチとスピーチメモをモデルとして提示する。</li> <li>◆伝えたい自分について考えを交流し、見通しをもたせる。</li> <li>◆<u>夢4ファイルに目を通させ、これまでの自分と、なりたい自分について見つけ直させる。</u></li> </ul>   | <p>【思・判・表①】</p> <p>【主①】</p>     |
|          |           | <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30%; margin: 0 auto; padding: 5px;">自分を関わるせる</div>  |  |   |   |
| 見つめる     | 2         | スピーチ大会に向けて伝えたい内容を整理し、伝えたい内容が明確になるように構成を考える。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○伝えたい自分について書き出したことを整理する。</li> <li>○スピーチメモを作成する。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆自分の伝えたいことが伝わるように構成を考えさせる。</li> <li>○<u>構成についてこれまで学んだ内容をまとめた資料で、4種類の構成の型を振り返らせ、身に付けた力をどのように発揮できるか考えさせる。</u></li> <li>○伝えたい自分の思いが伝わるよう付箋を分類整理させ、仮の構成を考えさせる。</li> <li>○<u>例や似たテーマのグループの人と比較させ、共通点や相違点から自分の伝えたいことがより伝わるよう、エピソードを精査させ、構成の工夫について再度考えさせる。</u></li> </ul> | <p>【知・技①】</p> <p>【思・判・表②】</p> <p>【主①】</p>    |
|          |           | <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30%; margin: 0 auto; padding: 5px;">自分について考える</div> |  |   |   |

|      |   |                                       |   |   |   |
|------|---|---------------------------------------|---|---|---|
| 見つめる | 3 | 自分の考えが伝わるように、効果的な資料を収集・作成する。          | <p>○効果的な資料とはどういうものかの理解を共有する。</p> <p>○効果的な資料を準備する。</p> <p>自分を客観的に見つめる</p>                          | <p>◆<u>何を知りたい、聞きたいと思っているのか、相手の意識に気付かせる。</u></p> <p>◆<u>何を資料として用いればよいのかを考えさせ、夢4ファイルや、読書Memories, キャリアパスポートからの洗い出しを行い、Chromebookのスライドを活用して資料を作成させる。</u></p> |   |
| 見つめる | 4 | 自分の伝えたいことに合わせて、資料を絞り込み、スピーチの内容を完成させる。 | <p>○スピーチの内容を完成させるのに必要なことを共有する。</p> <p>○準備した資料の中から、より適切な資料を選び、スピーチを一旦作り上げる。</p> <p>自分を客観的に見つめる</p> | <p>◆<u>収集した情報や資料の中から、自分の思いや考えを効果的に伝えられる資料かどうかを視点として絞り込ませる。</u></p> <p>◆<u>聞き手の立場から見直させ、資料を取捨選択させる。</u></p>  |   |
| 見つめる | 5 | スピーチ大会に向け、グループ内で練習し、スピーチの内容を修正する。     | <p>○グループ内でスピーチをし、内容をより良くするための助言をし合う。</p> <p>○スピーチの内容を見直し、完成させる。</p> <p>自分を客観的に見つめる</p>            | <p>◆<u>グループの中で、互いのスピーチについて、話の効果や資料の効果をもぐって意見交換させる。</u></p>  |   |
| 深める  | 6 | スピーチ大会を行い、振り返りをする。                    | <p>○話し手と聞き手、それぞれの立場で気を付けることを確認する。</p> <p>○スピーチをし、互いのスピーチの良さを伝え合う。</p> <p>自分に対する見方を広げる</p>         | <p>◆<u>学年でスピーチ大会をする。</u></p> <p>◆<u>Chromebookのカメラ機能で自分の発表を記録させ、伝えたい人にいつでも見せることができるようにする。</u></p> <p>◆<u>単元はじめの自分と比較させ、伸ばせたことや、次の課題について考えさせる。</u></p>     | <p>【思・判・表②】</p>  |

※波線はキャリア教育の視点

6 本時の学習（6時間扱いの1時間目）

(1) 本時の目標（その教科の目標）

自分の思いをスピーチで伝えるという見通しをもち、適切な話題を考える。  
学習の見通しをもち、効果的なスピーチへの意欲を高める。

(2) キャリア教育の重点

◎めあてとなる姿を明らかにして学習計画を立てることを通して、自分を見つめ課題に対してどのように関わっていくかイメージを確かにし、活動に主体的に取り組む力を育てる。

【自己理解・自己管理能力】

(3) 展開

| 段階  | 学習活動   | 教材, 教具, 学習形態                | 指導・支援 (○) 評価 (●)  |
|---|--|-----------------------------|---|
| 導入<br>10分   | 1 スピーチを視聴し、ゴールイメージをもつ。<br><br><ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えが相手に伝わるように工夫して話すことができるようになる。</li> <li>スピーチ会をする。</li> <li>表現を工夫すると学習が深まる。</li> <li>テーマはなりたいた中学生像。</li> <li>相手は友達や保護者。</li> </ul>  | 【全体】<br>・板書                 | ○スピーチをモデルとして提示する。<br>○何のために学ぶのか、 <u>学びの価値を、どのような活動を通して学ぶのか、言語活動を提示する。</u><br>○ <u>どんな力をつけたいか、誰に何を伝えたいかを話し合わせ、児童の伝えたいという思いや課題意識を高めさせる。</u> |
|   | 2 スピーチメモを見て、表現の工夫について考える。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>伝えたいことが伝わる資料を提示する。</li> <li>構成を工夫する。</li> <li>高畑さんが使っていた問いかけを使う。</li> </ul>  | 【全体】<br>・スピーチメモ<br>・学級      | ○スピーチメモをモデルとして提示する。<br>○ <u>構成や資料の工夫をすることで相手の心に届くスピーチになることを押さえる。</u><br>○ワークシートでこれまでの学習を想起させる。  |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>めあて <u>表現を工夫して、自分の思いや考えが相手の心に届くスピーチができるようになる</u>ろう。</p> </div> |  |                             |   |
| 展開<br>30分   | 3 学習計画を立てる。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>話題を考える。</li> <li>話題を整理して、構成を考える。</li> <li>スピーチメモを完成させる。</li> <li>資料を準備する。</li> <li>スピーチを完成させる。</li> <li>スピーチの練習をする。</li> <li>スピーチ大会で伝えたいことを相手の心に届ける。</li> <li>伝えたいこと(テーマ)を明確にする。</li> <li>今まで習った構成を使ってどれがいいか選ぶ。</li> </ul> | 【全体】→【個人】<br>・短冊<br>・ワークシート | ○ <u>どんな力を生かし、どんな力を付けるのか、夢4の視点で価値付ける。</u><br>●学習の見通しをもち、効果的なスピーチへの意欲を高めている。【主①】   |
| まとめ<br>5分   | 4 スピーチの話題を考える。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>熱中することを見付けたいので、部活に打ち込む自分になりたい。</li> <li>勉強と部活の両立のために、切り替えができる自分になりたい。</li> </ul>  | 【個人】<br>・夢4ファイル             | ○ <u>夢4ファイルに目を通させ、これまでの自分と、なりたいた自分について見つめ直させる。</u><br>●スピーチ会に向けて、目的や意図に応じて話題の材料となる事柄を考える。【思・判・表①】   |
|   | 5 学習を振り返り、次時の見通しをもつ。   |                             |   |

※波線はキャリア教育の視点

## 7 板書計画

### 構成 資料

めあて表現を工夫して、自分の思いや考えが

相手の心に届くスピーチができるようになるろう。

今、私は、ぼくは

〜なりたい中学生 宣言〜



### 学習計画

- ① 話題を考える      ↑夢4ファイル
- ② 話題を整理する      ↑付せん取捨選択  
構成を考える      ↑構成の工夫
- ③ スピーチメモを完成させる ↑構成の工夫
- ④ 資料を準備する ↑内容に合った資料を選ぶ  
スピーチを完成させる      ↑語りかけ
- ⑤ スピーチの練習をする      ↑語りかけ
- ⑥ スピーチ大会で伝えたいことを相手の心に届ける。 ↑目的や話題を意識して聞く  
自分と比べて聞く



### ① 話題を考える

こんな中学生になりたい

・熱中することを見つけたい

↑部活に打ち込む自分

・勉強と部活の両立ができるように

↑切り替えができる

振り返り